

ほんわ館だより

令和7年8月発行
第155号

中山町立図書館
開館 9:00～19:00
休館日 8/4.12.18.25



8月の展示コーナー



★おすすめコーナー 『夏を涼しく』 連日30度を超える猛暑が続いています。そんな厳しい夏の暑さを乗り切れるよう、さまざまなジャンルの本で涼しさを感じてみませんか？

★児童書コーナー

- ・絵本コーナー 『なつのよる』 『おいしそう！』
- ・円形コーナー 『星と宇宙』
- ・空中図書コーナー 『日本絵本賞』 ・小学生おすすめコーナー

★2階掲示板 『タレントが書いた本』 『楽しい自由研究②』



★今月のおはなし会★

8月16日(土)11:00～11:30
場所:ほんわ館 多目的室

8月にぴったりの
絵本を読むよ
たくさん参加してね



夏休みイベント『ほんわ館からの脱出』今年も絶賛開催中ですよ!!

8月3日(日)まで夏休みイベント「ほんわ館からの脱出」を開催中です。
まだ参加されていない方もチャレンジしませんか？たくさんのご参加をお待ちしています!!

ほんわ館でクールシェアしませんか？

家のエアコンを切って、ほんわ館でゆったり読書をしませんか？省エネ、熱中症予防になりますよ！カウンター前のシマエナガを見て癒されるのもおすすめです



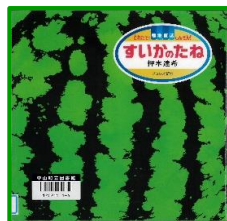
新着 最近入った本を紹介します

※ここに紹介した他にも
たくさん入っています

【児童書(えほん)】



◀『ふたすけのラッパ』
やまざき ひろし/作
ポプラ社
♡バスにとじこめられ
たらどうすればいい？



◀『すいかのたね』
押本 達希/作
ブロンズ新社
♡タネでえさがし
あそび



◀『ひとのなみだ』
内田 麟太郎/文
童心社
♡せんそうがはじま
った。たたかうのはロボ
ット、それをテレビでみ
ているぼく...

【文芸書】書名	編著者名	【児童書】書名	編著者名
踊りつかれて	塩田 武士/著	わたし、わかんない	岩瀬 成子/著
Nの逸脱	夏木 志朋/著	みるみる数字に強くなるマンガ	Team.StoryG/著
乱歩と千畝	青柳 碧人/著	No.6 再会	あさの あつこ/著
紅色の幻(おいちものがたり7)	あさの あつこ/著	地下室の日曜日	村上 しいこ/著
曙光の街(公安外事・倉島シリーズ1)	今野 敏/著	運命を変えるチャンスはなぜか突然やって来る	今村 翔吾/著
踊れ、愛より痛いほうへ	向坂 くじら/著	【教養書】書名	編著者名
パズルと天気	伊坂 幸太郎/著	歴史探偵昭和史をゆく(上・下)	半藤 一利/著
クロエとオオエ	有川 ひろ/著	ひんやりごはん	蓮池 陽子/著
一撃のお姫さま	島本 理生/著	薄い布でつくる服	笹原 のりこ/著
どうせ世界は終わるけど	結城 真一郎/著	昭和20年8月15日	中川 右介/著
皇后の碧	阿部 智里/著	父と娘ときどき母の認知症日記	南高 まり/著
ふたり旅日和	秋川 滝美/著	世界のニュースを日本人は何も知らない	谷本 真由美/著
帰れない探偵	柴崎 友香/著	「イスラエル人」の世界観	大治 朋子/著
トットあした	黒柳 徹子/著	雲助おぼえ帳	五街道 雲助/著

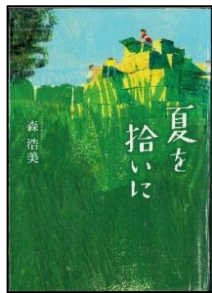


本の歳時記



ー夏休みの冒険ー

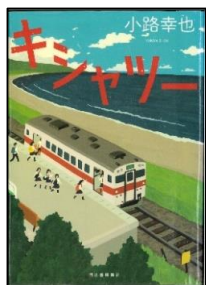
お盆を過ぎれば学校の夏休みも残りわずか。夏休みは、普段学校では体験できないことへ挑戦する教育効果が期待されているとか。さて、子どもたちはどんな夏休みを過ごしているのでしょうか。遠い少年・少女のころ、何をするでもないけれど毎日が冒険のようで、長くて、時には退屈したけど充実していた日々。そして、夏休みが終わってしまう日が近づく寂しさや憂いの空気を思い出す人もいることでしょう。



『夏を拾いに』

『夏を拾いに』（森 浩美／著 双葉社）

転勤を言い渡された父が、その夜、小学5年生の息子に語り出したのは、昭和46年、息子と同じ年の夏の日々。小学生の仲間3人は、いつかじいちゃんから聞いた話を頼りに、どこかにまだ埋まっているかもしれない不発弾探しをします。その過程で、友達との関係を見つめ直したり、乱暴者の意外な一面を見たり、都会の転校生と親しくなったり、家庭の内情や親の苦労を垣間見たりと、一夏の経験を通して少しだけ大人になります。映画『スタンド・バイ・ミー』を彷彿とさせるような夏の日の冒険に、夏草の匂いや、まとわりつく汗の感覚を思い出させます。



『キシャツ』

『キシャツ』（小路幸也／著 河出書房新社）

「汽車通」のタイトルに懐かしさを覚えた人も多いことでしょう。北海道の片田舎の海沿いを1時間に1本だけ走る1両編成のローカル線で「キシャツ」する高校生。夏休みのある日、部活に向かう電車から海岸に赤いテントが見えたことで物語が始まります。キャンプをしていたのは、東京から血の繋がらない姉を探しに来た高校生。同世代の若者たちは出会い、一緒に姉を探し出そうとする夏休みの数日。進路や友達、恋愛、家族の事など、それぞれの悩みを抱えながらも前に進んでいく姿を描きます。残り少ない夏が終わる前に、ぜひ読んでみたい一冊です。



『夏の庭
The Friends』

『夏の庭 The Friends』（湯本 香樹実／作 福武書店）

「死んだ人が見たい!」小学6年生の少年3人は、死が近いと噂の、町外れに一人で暮らす屍のような老人の、死ぬ瞬間を見るために観察を始めます。毎日見張っていると、老人はなぜか元気になっていきます。いつしか少年たちは老人のために行動するようになり、その思いも少しずつ変わっていきます。出会いと別れ、ひと夏の冒険が一生忘れられない友との思い出を作る物語です。夏の日の大切な思い出は、誰にでも一つくらいはあるものです。30年以上も前に出版された作品で映画や演劇にもなりました。世代を超えて読み継ぎたい一冊です。

ほんわ館で読まれています

『嫌われる勇気』

岸見 一郎／著 古賀 史健／著 ダイヤモンド社



どうすれば人は幸せに生きることができるかという哲学的な問いに、きわめてシンプルかつ具体的な答えを提示する「アルフレッド・アドラーの思想(アドラー心理学)」について対話形式でまとめました。

『もっと!にゃん!』

あさの あつこ／著 祥伝社



腰元は猫、上臈(じょうろう)は虎という、一風変わった仲間とともに、唯一の“人族”として猫の奥方さまに仕えているお系。平和を絵に描いたような鈴江の地に、近頃なにやら不穏な噂が…。

『変えること変わらないこと』

内田彩仍／著 主婦と生活社



あと一年ほどで六十代になる著者。今を楽しく過ごしつつ、六十代を見据えて人生後半を機嫌良く過ごせるよう暮らしを整えている真っ最中です。これからの日々を幸せに過ごすための新しい暮らし方をまとめました。

『パズルと天気』

伊坂幸太郎／著 PHP研究所



恋人の様子がおかしいと悩んでいた主人公は、マッチングアプリでしか出会えない名探偵に事情を話し、その答えは予想外のもので…。他に伊坂ワールドの魅力が詰まった4編の短編を収録。

|